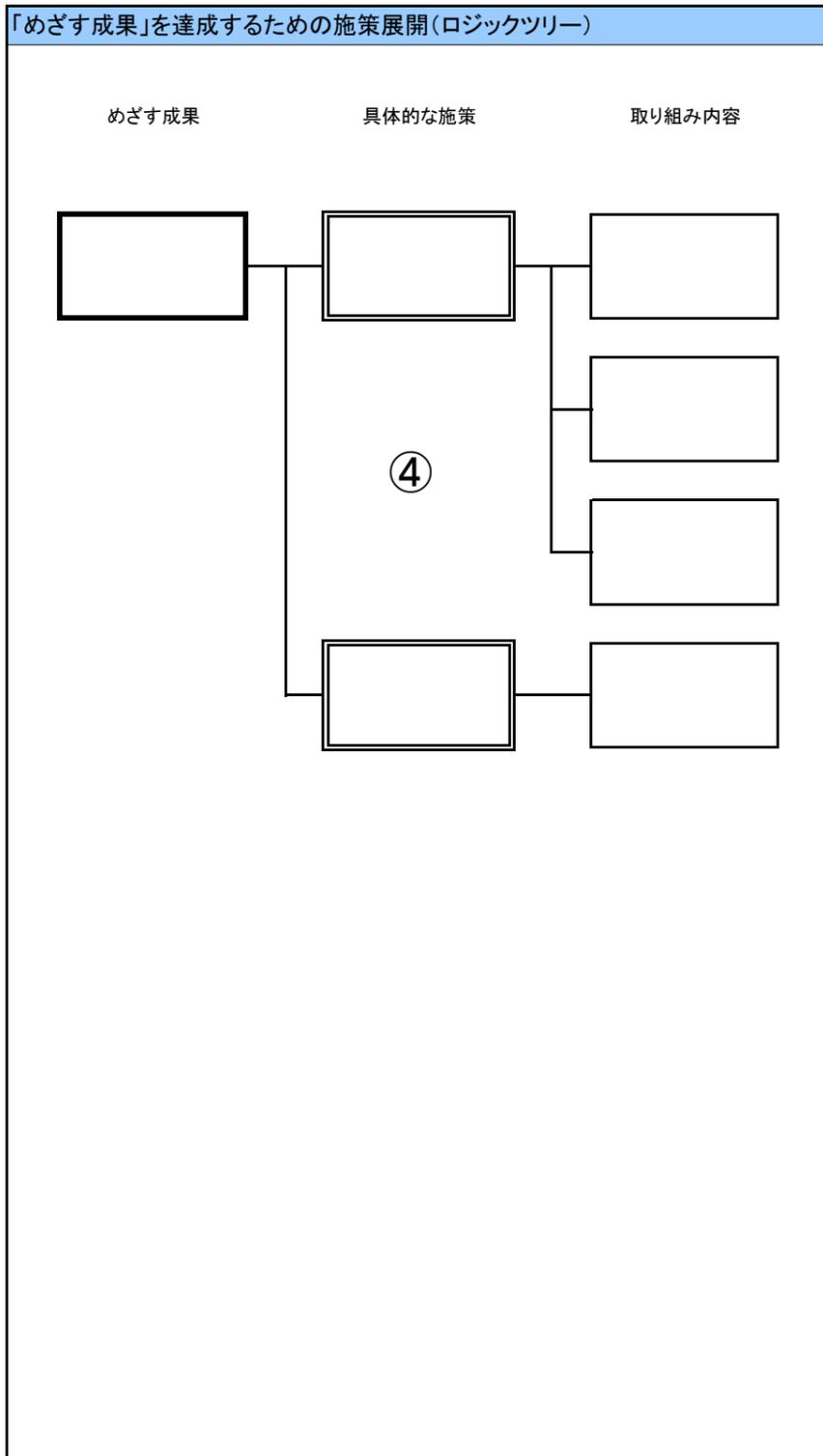


「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート(A)

① 健康領域・基本目標 担当部： ②

③

総合計画体系	健康領域・基本目標	
	個別目標	
	めざす成果	



成果を計る指標

指標①

⑤			
計画策定時の現状値	実績値 (H21)	中間目標値 (H23)	達成率
		⑥	

指標②【補完指標】

計画策定時の現状値	実績値 (H21)	中間目標値 (H23)	達成率

指標③【補完指標】

計画策定時の現状値	実績値 (H21)	中間目標値 (H23)	達成率

指標④

計画策定時の現状値	実績値 (H21)	中間目標値 (H23)	達成率

指標⑤

計画策定時の現状値	実績値 (H21)	中間目標値 (H23)	達成率

指標⑥

計画策定時の現状値	実績値 (H21)	中間目標値 (H23)	達成率

基本情報 (総合政策課にて一部入力済み、要確認)

- ① 施策名  
対象となる施策「めざす成果」の名称を記入する。
- ② 主な担当部  
当該施策を中心的に推進する部の名称を記入する。
- ③ 総合計画体系  
対象となる施策「めざす成果」の上位目的にあたる健康領域、基本目標、個別目標を記入する。

「めざす成果」を達成するための施策展開 (総合政策課にて一部入力済み、要確認)

- ④ 「めざす成果」達成のための施策展開図(ロジックツリー)
  - 「めざす成果」達成のためのロジックツリーを示し、施策構造を明らかにする。
  - 記入欄の左側に「めざす成果」、次に「具体的な施策」、右側に「取り組み内容」をそれぞれ配置して、左から右へプロセスが流れるように作成する。
  - 「めざす成果」の枠は太線、「具体的な施策」の枠は二重線、「取り組み内容」の枠は細線で表示する。

◆ロジックツリーとは  
「めざす成果」を達成するためにどのような状態が必要か、また、その状態を実現するために市が実施すべきことは何かを論理的に示したもの。

◆ロジックツリー作成のメリット

- 「めざす成果」と市が実施すべき事柄の関連を確認することができる。
- 「めざす成果」を表す指標の達成度が不十分な場合、途中のプロセスをチェックすることにより原因を特定できる可能性がある。
- 「めざす成果」を実現する上での事業構成を見て、類似の目的を持つ事業や欠けている活動を認識することができる。
- ロジックツリーの中に示された項目を指標化することにより、バランスのとれた客観性のある指標を設定することができる。

成果を計る指標 (総合政策課にて一部入力済み、要確認)

- ⑤ 指標名  
第8次総合計画に掲げられている「成果を計る指標」を記入する。  
また、総合計画指標だけでは成果の確認が不十分な場合は、ロジックモデルに示された項目に沿って、補完指標を設定する。
- ⑥ 指標の推移  
第8次総合計画に示されている現状値と中間目標値を転記するとともに、実績値を記入する。  
達成率については、(実績値-現状値) / (中間目標値-現状値) × 100で算出する。

◆補完指標の設定にあたって  
ロジックツリーの「取り組み内容」ごとに設定されることが理想ですが、困難な場合などは、「具体的な施策」において設定することも可能。しかしながら、単に予算見合いによって変化させる指標は好ましくない。

「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート ○-○-○(B)

「めざす成果」の推進状況	
主な取り組み内容	⑦

構成事業に対する考え方	
構成する事業の量及び実施手法について	⑧

来年度の展開方針		
新規事業の立案		(該当する事務事業)
既存事業の拡充		(該当する事務事業)
事業の廃止・縮減	⑨	(該当する事務事業)
事業の効率化		(該当する事務事業)
その他見直し		(該当する事務事業)

施策への提言	
総合計画審議会記入欄	⑩

「めざす成果」の推進状況

⑦主な取り組み内容

ロジックツリーに示される「めざす成果」達成のための要因（二重枠線）ごとに、現在の取り組み内容や今年度の取り組み予定を記入する。  
ここで記入される内容は、4月に実施している「各部の現状と課題」時に各部が記入した『現状』欄を参考に記述する。

構成事業に対する考え方

⑧構成する事業の量及び実施手法について

「めざす成果」を取り巻く社会環境の変化、成果を計る指標の進捗状況、事務事業評価の結果等を踏まえ、現在の事業量、実施手法で「めざす成果」の達成が可能かを検証し、課題や問題点を記入する。  
ここで記入される内容は、4月に実施している「各部の現状と課題」時に各部が記入した『課題』欄や『取り組み方針』欄を参考に記述する。  
なお、記述内容については、7月に実施するサマーレビューにおいて、各部が記述する『(仮)施策についての取り組み方針』の前提となる。

来年度の展開方針

⑨来年度の展開方針

構成事業に対する考え方（課題、問題点）を踏まえ、来年度の展開方針を次の5つの中から該当する項目を記入する。  
なお、記入項目については、記載内容に応じ対象となる事務事業について、右欄に事務事業名称を記入する。

- ・新規事業の立案 : 新規の事業を立案する。
- ・既存事業の拡充 : 既の実施されている事業規模を拡大する。
- ・事業の廃止・縮減 : 事業を廃止または規模を縮小する。
- ・事業の効率化 : 効率的運営に向けて手段の改善を図る。
- ・その他見直し : 上記以外の見直し

施策への提言

⑩総合計画審議会記入欄

市から提出された内容に基づき、来年度の施策展開の見直しにあたっての意見を記入する。